

感 染 防 止 安 全 計 画

- 本計画の策定対象は、以下の条件に当てはまるイベントとなります。
- 以下に当てはまらない場合、「感染防止策チェックリスト」をイベントのHP等で公表いただき（東京都への提出不要）、開催日時等の要請内容に従ってイベントを開催してください。
 - ・①緊急事態措置区域やまん延防止等重点措置区域である期間：1回あたりの参加人数5,000人超のイベント。
 - ・② ①以外の期間：
 - ・（収容定員あり）1回あたりの参加人数5,000人超かつ収容率50%超で開催するイベント
 - ・（収容定員なし）1回あたりの参加人数5,000人超かつ人と人が触れ合わない程度の間隔で開催するイベント
- ・大声（観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること）がない又は大声を発生させないために必要な対策をとるイベント

【1. 開催概要】

イベント名	TOKYO IDOL FESTIVAL 2022
出演者・出演チーム等	期間中3日間でアイドル総数200組ほど
イベントの概要 ※チラシ等の添付でも可	アイドルのライブイベント（フェス）
イベントホームページURL ※作成している場合のみ	https://official.idolfes.com/s/tif2022/
開催日時	令和 4 年 8 月 5~7 日 10 時 0 分 ~ 21 時 0 分

開催会場	会場名	フジテレビ湾岸スタジオ、ZeppDiverCITY ほか
	所在地	東京都港区台場 お台場・青海周辺エリア

主催者	会社名・団体名等	株式会社フジテレビジョン
	所在地	東京都港区台場 2-4-8
	相談者氏名	
	相談者メールアドレス	
	相談者電話番号	
※内容の確認や修正のお願いのため、ご連絡させていただくことがあります。平日昼間に繋がりがやすい番号をご記載ください。		

会場の収容定員	人 or <input checked="" type="checkbox"/> 収容定員なし ※スタンディング、着座等によってキャパシティが異なる場合、使用方法に沿った収容定員を記入してください。
開催1回あたりの動員人数	10,000 人 ※入退場管理が行われ、会場内の参加者数が特定できる場合には、会場に同時に滞在する最大の参加者数を記入してください。
収容率（自動計算）	#DIV/0!

対象者全員検査等の実施	<p>対象者全員検査を実施する場合、緊急事態措置期間等においてイベントの人数制限が設けられた場合であっても、収容定員まで動員可能となります。</p> <p>※措置等の内容によっては、対象者全員検査によらず、「ワクチン・検査パッケージ制度」により、人数制限等を緩和する場合があります。</p> <p>※感染拡大の状況によっては、政府・東京都の判断で対象者全員検査等の適用による人数緩和が実施されない場合があります。</p> <p><input type="checkbox"/>あり <input checked="" type="checkbox"/>なし</p>
-------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

その他特記事項等	出演者および主要スタッフはPCR検査を実施。PCR検査を実施していないスタッフに関しては当日抗原検査を実施
----------	-------------------------------------------------------

【2. 具体的な対策項目】

①飛沫の抑制（マスク着用や大声を出さないこと）の徹底

【チェック項目】

<input checked="" type="checkbox"/>	飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、適切なマスク（品質の確かな、できれば不織布）の正しい着用（※1）や大声（※2）を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる。	チェックOK
-------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------

（※1）マスクの着用については、厚生労働省HP「国民の皆さまへ（新型コロナウイルス感染症）」参照。
 なお、屋外において、他者と距離がとれない場合であっても会話をほとんど行わない場合は、マスクの着用は必要ないことに留意すること。
 （※2）大声の定義は「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とする。

【具体的な対策内容】 **記載必須**

【記載例】原則、下記に従ってご記入ください。赤字箇所に具体的な対策内容等をご記入ください。

(1) マスクを着用しない者や大声を出す者に対する個別注意等の具体的方法の検討・実施

①マスクを着用しない者（屋外において会話をほとんど行わない場合を除く）や繰り返し大声を発する観客の退場措置について、ホームページでの案内等に明記、会場内の告知ボードおよびアナウンスにより、事前に周知を行う。

②観客席を巡回する係員（観客33人当たり1人、合計300人）を配置し、会場全体を確認できる体制を整備し、個別注意を行い、応じない場合には退場措置を行うことの徹底を担保する。

(2) 新たな鑑賞・応援方式を根付かせるための取組の工夫

・適切なマスク（品質の確かな、できれば不織布）の正しい着用や大声を出さないことについて、ホームページでの案内、会場内の告知ボードおよびアナウンスにより、周知・徹底する。出演者による注意喚起を実施。

②手洗、手指・施設消毒の徹底

【チェック項目】

<input checked="" type="checkbox"/>	こまめな手洗いや手指消毒の徹底を促す。 （会場出入口等へのアルコール等の手指消毒液設置や場内アナウンス等の実施）	チェックOK
<input checked="" type="checkbox"/>	主催者側による施設内（出入口、トイレ、共用部等）の定期的かつこまめな消毒の実施。	チェックOK

【具体的な対策内容】 **記載必須**

【記載例】原則、下記に従ってご記入ください。赤字箇所に具体的な対策内容等をご記入ください。

(1) 具体的な手指消毒液の設置場所、準備個数等の検討・実施

①以下の箇所にアルコール消毒液を配置し、こまめな消毒を促す。

 入場口 ：各入場口レーン毎1個以上 計32個
 トイレ ：各1個以上 計16個
 ドリンク売店：各1個以上 計3個
 リストバンド交換所：29個
 各楽屋：8個
 合計 ：88個

(2) 施設内の消毒（箇所・頻度等）の計画の検討・実施

①開場前に、出入口、座席、トイレ、楽屋等の消毒清掃を行い、閉場後も同様の消毒清掃を行う。
 ②イベント開催中においても、出入口、座席、トイレ、楽屋等について、1時間に1回以上の頻度で、こまめな消毒を実施する。

(3) アナウンス等での手洗・手指消毒の呼びかけ

①ホームページでの案内等に明記、会場内の告知ボードおよびアナウンスにより、手洗・手指消毒の実施を呼びかける。

③換気の徹底

【チェック項目】

<input checked="" type="checkbox"/> 法令を遵守した空調設備の設置による常時換気又はこまめな換気（1時間に2回以上、1回に5分間以上）の徹底	チェックOK
-----------------------------------------------------------------------------------------	--------

【具体的な対策内容】 記載必須

【記載例】 原則、下記に従ってご記入ください。赤字箇所に具体的な対策内容等をご記入ください。

(1) 施設の設備に応じた換気計画の検討・実施

- ①法令を遵守した空調設備の設置により、常時換気を徹底する。
- ②CO2測定装置による常時モニターによる換気状況の確認を行う。

④来場者間の密集回避

【チェック項目】

<input checked="" type="checkbox"/> 入退場時の密集を回避するための措置（入場ゲートの増設や時間差入退場等）の実施	チェックOK
<input checked="" type="checkbox"/> 休憩時間や待合場所での密集も回避するための人員配置や動線確保等の体制構築	チェックOK
<input checked="" type="checkbox"/> 人と人が触れ合わない間隔の確保	チェックOK

【具体的な対策内容】 記載必須

【記載例】 原則、下記に従ってご記入ください。赤字箇所に具体的な対策内容等をご記入ください。

(1) 開場時間の前倒しや時間差・分散退場の実施、交通機関との連携による誘導計画

- ①開演1時間前から開場により、余裕を持った開場時間を確保する。
- ②退場時の密集回避のため規制退場退場口に近い観客からブロック毎で順番に警備員の声掛けにより退場などの実施を行う。
- ③特定の入退場口に観客が集中しないよう、係員（4名以上）を配置し、各入退場口への分散を促す。

(2) 密になりやすい場所での足形マークの設置、マーキング、誘導員等の配置による誘導等の実施計画

- ①密になりやすい入退場口に1箇所あたり4名以上の係員を配置するとともに、リストバンド交換所および入場前列、売店、トイレ等など、密が発生しやすい共有スペースにはラインマーク（1m間隔で設置、合計8箇所）を設置し、密を回避した誘導や動線確保を行う。

⑤ 飲食の制限

【チェック項目】

<input checked="" type="checkbox"/> 飲食時における感染防止策（飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策）の徹底	チェックOK
<input checked="" type="checkbox"/> 飲食中以外のマスク着用の推奨	チェックOK
長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、可能な限り、飲食専用エリア以外（例：観客席等）は自粛。 <input checked="" type="checkbox"/> （ただし、発声がないことを前提に、飲食時以外のマスク着用担保や、マスクを外す時間を短くするために食事時間を短縮する等の対策ができる環境においてはこの限りではない）	チェックOK
<input checked="" type="checkbox"/> 東京都の要請に従った飲食・酒類提供の可否判断（提供する場合には、飲酒に伴う大声等を防ぐ対策を検討）	チェックOK

【具体的な対策内容】 記載必須

【記載例】 原則、下記に従ってご記入ください。赤字箇所に具体的な対策内容等をご記入ください。

【飲食ありの場合】

- ・会場内での飲食は、食事はなし、飲み物のみ可飲み物は観客席等でも可とする。
- ・会場での告知ボードおよびアナウンス、係員による個別注意の実施等により発声を最小限に抑えることを担保するとともに、飲む際以外のマスク着用を担保し、マスクを外す時間を短くするために時間を短縮する対策を行う。

(1) 飲食専用エリアにおける飛沫感染リスク等を低減する具体的な感染防止策の策定

- ・一般来場者への飲食専用エリアは設置しない。出演者に対しては飲食エリアにてテーブル間隔を空け（座席間隔1m以上の確保）スクール形式にテーブルを設置により、飛沫感染リスクを低減させる。

(2) 飲食・アルコールを必要最小限に抑える方策の検討・実施

- ・アルコール販売なし、アルコールの持ち込み禁止。ホームページでの案内等に明記、会場内の告知ボードおよびアナウンスにより周知する。

(3) 安全なイベント開催のために、飲酒による大声発生等の問題発生時には退場処分や酒類の提供中止等の対策を事前に周知

- ・飲酒は禁止。観客席を巡回する係員（観客33人当たり1人、合計300人）を配置し、飲酒による大声発生等の問題発生時には個別注意を行い、応じない場合には退場措置を行う。当該対応について、ホームページでの案内等に明記、会場内の告知ボードおよびアナウンスにより周知を行う。

⑥ 出演者等の感染対策

【チェック項目】

<input checked="" type="checkbox"/> 有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）は出演・練習を控えるなど日常から出演者（演者・選手等）の健康管理を徹底する。	チェックOK
<input checked="" type="checkbox"/> 練習時等、イベント開催前も含め、声を発出する出演者やスタッフ等の関係者間での感染リスクに対処する	チェックOK
<input checked="" type="checkbox"/> 出演者やスタッフ等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる（誘導スタッフ等、必要な場合を除く）	チェックOK

【具体的な対策内容】 記載必須

【記載例】 原則、下記に従ってご記入ください。赤字箇所に具体的な対策内容等をご記入ください。

(1) 日常から行う出演者やスタッフ等の健康管理方法の検討

- ① 7日前から毎日検温を実施。出演者および主要スタッフはPCR検査を実施、PCR検査を行っていないスタッフは当日抗原検査を実施などにより、日常から出演者（演者、スタッフ等）の健康管理を徹底する。
- ② イベント開催前、発熱又は風邪等の症状が見られる場合、従事参加させない。
- ③ イベント開催日、発熱又は風邪等の症状が見られる場合、会場への入場を禁止する。

(2) 出演者やスタッフ等と観客の接触防止策（動線計画・ファンサービスの自粛等）の策定、出演者やスタッフ等及び観客双方への呼びかけ

- ① 出演者・スタッフ等の専用入退場口の設定等により、動線を完全に分離し、イベント前後や休憩時間等も含め、出演者やスタッフ等と観客の接触回避を徹底する。
- ② 出演者と観客が接触するファンサービスについては、ビニールシートにより接触がない形の実施を行い、マスクをした上でビニールシート越しの会話のみとするなど感染対策を徹底の上で実施する

⑦参加者の把握・管理等

【チェック項目】

<input checked="" type="checkbox"/> チケット購入時又は入場時の連絡先確認やアプリ等を活用した参加者の把握	チェックOK
<input checked="" type="checkbox"/> 入場時の検温、有症状者（発熱又は風邪等の症状）等を理由に入場できなかった際の払い戻し措置等により、有症状者の入場を確実に防止	チェックOK
<input checked="" type="checkbox"/> 時差入退場の実施や直行・直帰の呼びかけ等イベント前後の感染防止の注意喚起	チェックOK

【具体的な対策内容】 記載必須

【記載例】原則、下記に従ってご記入ください。赤字箇所に具体的な対策内容等をご記入ください。

(1) チケット購入時の参加者の連絡先把握

- ①チケット販売は、原則として事前予約制とし、販売時に購入者・同行者の連絡先を把握する。
- ②事前予約以外で入場する場合、スマートフォンによる個人情報入力により、連絡先を把握する。
- ③イベント終了後、14日以内に感染が判明した場合、主催者に連絡するようホームページでの案内、リストバンド交換所での感染症対策に関する事項への同意書、会場内の告知ボード、アナウンスにより参加者に周知する。

(2) COCOAや各地域の通知サービス等による来場者情報の把握・管理手法の確立

- ・COCOAのインストールをホームページでの案内、会場内の告知ボード、アナウンスにより周知する。

(3) 直行・直帰等のイベント前後の感染対策に関する具体的な措置

- ①直行・直帰について、ホームページでの案内、会場内の告知ボード、アナウンスにより、呼びかけを行う。
- ②出口付近の係員（7名）により、駅への口頭誘導等の実施を行う。

(4) 検温・検査実施のための体制・実施計画

- ・入場口1箇所当たり係員1レーン1名（合計30名）以上を配置し、リストバンド交換、入場時に非接触検温を実施により、入場者全員に対して検温を実施する。

(5) 有症状者の入場を防止できるキャンセルポリシーの整備

【チケット払い戻し不可の場合】

- ・検温によって発熱等を確認した場合、入場を防止し、チケットの払い戻しは行わないことを説明する。また、当該取扱いを事前にホームページでの案内で周知する。

【3. その他】

イベントの一層の安心・安全確保のため、以下の取組にご協力をお願いいたします。

<input checked="" type="checkbox"/> イベント参加者等に対し、「TOKYOアクション」の活用の呼びかけを実施（例：ホームページでの案内、会場内大型映像装置等での案内、会場でのアナウンス等）	チェックOK
<input checked="" type="checkbox"/> 業種別ガイドラインの遵守	チェックOK
<input checked="" type="checkbox"/> イベント参加者等に対し、イベント前後の活動における基本的な感染対策の徹底や直行直帰の呼びかけ等の実施	チェックOK

【4. 対象者全員検査等に関する実施計画】実施する場合に記載

※緊急事態措置等の発令時に、人数上限を超えて開催をしようとする場合に記載

(感染拡大の状況によっては、政府・東京都の判断で、対象者全員検査等の実施による人数緩和が実施されない場合があります。)

※実施にあたっては、必ず以下のHP及び要綱・事務連絡等をご確認ください。

- ・イベントの開催制限等について（東京都防災HPより、最新のページをご確認ください。→<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/index.html>）
- ・「ワクチン・検査パッケージ制度要綱」（令和3年11月19日新型コロナウイルス感染症対策本部決定）
- ・「ワクチン・検査パッケージにおける抗原定性検査の実施要綱」（令和3年11月19日付け事務連絡）
- ・「ワクチン・検査パッケージ」の実施に係る留意事項等について」（令和3年11月19日付け事務連絡）
- ・「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（令和4年1月7日変更）における「対象者に対する全員検査」の取扱いについて」（令和4年1月7日付け事務連絡）

対象者の「陰性の検査結果」を確認対象としている。

※対象者全員検査では、「ワクチン接種歴」を確認対象とすることはできません。

実施を予定している検査の内容について具体的に記載してください。

（PCR検査・抗原定量検査・抗原定性検査等の検査種別、事前送付・現地検査等の実施の有無等）

出演者および主要スタッフはPCR検査を実施。PCR検査を実施していないスタッフに関しては当日抗原検査を実施

「検査結果」の確認方法について具体的に記載してください。

抗原定性検査を実施する場合には、「ワクチン・検査パッケージにおける抗原定性検査の実施要綱」（令和3年11月19日付け事務連絡）に従い、適切に実施する。

その他の事項についても、「ワクチン・検査パッケージ制度要綱」及び関連する事務連絡等に従い、適切に実施する。

【5. 専門家との調整状況】専門家の事前確認を受けた場合に記載

助言を受けた専門家	所属	
	氏名	

主な助言内容

●提出時には、イベントのチラシや計画書等（既存資料）、参考とした業種別ガイドライン（特記事項欄へのURLの記載でも可）等も添付してください。

送付先アドレス（受信専用）：S0031507a@section.metro.tokyo.jp

※イベント開催日の2週間前までをめぐにご提出ください。